

トピックス

年末～  
1月上旬

■ 年末年始の大移動、JR西日本は前年比6%増！

JR西日本は、1月7日(月)に年末年始の利用状況を公表した。対象期間は2018年12月28日(金)～2019年1月6日(日)の10日間で、山陽新幹線、北陸新幹線、在来線特急、全てで**305.9万人(前年比106%)**となった。

長期休暇がとりやすい曜日配列であったこともあり利用客が増えた。利用者のピーク時としては**12月29日(土)の帰省(下り)が23.9万人。1月3日(木)のUターン(上り)22.5万人**となっている。

対象期間の1日当たりの近距離券利用者は大阪駅15.6万人(110%)、京都駅7.2万人(106%)三ノ宮駅4.6万人(105%)天王寺駅6.5万人(103%)となっている。

また関西圏の主要私鉄定期外旅客輸送実績は<対象期間:2018年12月31日(月)～2019年1月3日(木)>近鉄381万人(102%)南海114万人(101%)京阪141万人(99%)阪急288万人(100%)阪神88万人(102%)となっており、前述の関西私鉄5社の合計は1014万人(101%)となった。

■ 【天王寺・てんしば】「flumpool」再始動ゲリラライブ、「てんしば」で開催

1月13日、4人組ロックバンド「flumpool」が天王寺地区の**てんしば**でゲリラライブを行った。

2017年12月よりボーカルの山村隆太の発声障害の為、活動休止となっていたが約1年ぶりの活動となる今回はメンバーSNSなどでの呼びかけとボーカル山村自身の「本日13時天王寺てんしばです！」という直前の発表にも関わらず大勢の人が特設ステージが設営された公園内に集まり、メンバー全員が登場すると大歓声が沸き起こった。代表曲「花になれ」「two of us」の2曲が披露されおよそ4000人のファンを楽しませた。今回イベントが行われた「てんしば」にはタイアップ看板媒体もあり、flumpoolの再始動宣言の場で広告を出してみるのもいいかも。

■ 【阪神電鉄】台湾に本社を置く「桃園メトロ」と提携！

1月21日に阪神電気鉄道株式会社(阪神電鉄)と桃園大衆捷運股份有限公司(桃園メトロ)は**相互提携協定**を締結した。

阪神電鉄と桃園メトロは沿線に観光地を有しており、人気球団の本拠地となる野球場へ観客の輸送を行っているという共通点があることから、両者の提携によりさらなる発展を目指す。

特に阪神電鉄は阪神タイガース主催試合に「台湾デー」として台湾のグルメや台湾に関するイベントを展開してきたことで「**2018台湾観光貢献賞**」を授与されるなど精力的に施策を行って来た経緯もある。

2018年に台湾から入国した**訪日客数は約442万人(JNTO推計値:前年比104%)**とされ阪神沿線のインバウンド効果に期待が高まる。また広告展開として桃園メトロの車両4両1編成に**阪神沿線の観光地、見どころを含んだデザイン**のラッピングを実施、A1台北駅、A13空港第2ターミナル駅、A19桃園体育園區駅のホームドアに広告を展開、さらには全21駅に設置されているデジタルサイネージに広告を掲出、と1月21日(月)から台湾の地で日本の「**阪神**」に関する広告が垣間見えるのは楽しんだ。

■ 【京阪HD】京都駅前が開業「ザ・サウザンド キョウト」

1月29日に京阪ホテル&リゾーツ株式会社は京都駅前に「**THE THOUSAND KYOTO ザ・サウザンド キョウト**」を開業させた。

京都の知恵や癒しを感じるアメニティやアイテムを充実させた客室に、都会の喧騒を忘れさせる幻想的な体験に清々しい緑に包まれ自然を感じることが出来るウエディングチャペル、庭園を眺めながら日本料理を堪能できるレストランに加えイタリアンレストランもラインナップされている。地下1階・地上9階の全館に客室部分は3階～9階の全222部屋。地下1階部分と3階で京都センチュリーホテルと接続する形になっている。

また体験プログラム「**OKUTRIP KYOTO(オクトリップ キョウト)**」では一步奥の京都体験・お客様一人ひとりのご要望に合わせた京都の奥深さを提供する。

普段は非公開寺院となっている離れの間を貸し切り、800年の歴史ある庭園を眺めるプラン、またそこでの「**座禅体験**」プラン、お客様の要望に合わせてルートプランニングし、「**京都の空**」を楽しむヘリコプター・クルージングプランまで用意されている。このホテルに泊まりたいがために京都旅行もありかもしれない。

	全期間 (12/28~1/6)	帰省 (12/28~12/31)	Uターン (1/1~1/6)
山陽新幹線	188.0万人(106%)	78.3万人(104%)	109.7万人(108%)
下り	92.7万人(108%)	53.0万人(108%)	39.8万人(108%)
上り	95.3万人(105%)	25.4万人(96%)	69.9万人(108%)
北陸新幹線	33.2万人(107%)	14.1万人(105%)	19.0万人(109%)
下り	16.3万人(108%)	9.1万人(107%)	7.2万人(109%)
上り	16.9万人(107%)	5.0万人(101%)	11.9万人(110%)
在来線	84.7万人(104%)	34.4万人(99%)	50.3万人(107%)
下り	42.1万人(104%)	21.5万人(101%)	20.6万人(107%)
上り	42.6万人(103%)	12.9万人(97%)	29.7万人(106%)
合計	305.9万人(106%)	128.9万人(103%)	179.0万人(108%)
下り	151.1万人(107%)	83.6万人(106%)	67.5万人(108%)
上り	154.7万人(104%)	45.3万人(97%)	111.5万人(108%)

※注釈:四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。( )内は前年比

▲ JR西日本 12/28～1/6日間の利用状況

	関西5社合計		
	本年	前年	増減率
輸送人員	千人	千人	%
12月31日	1,824	1,767	3.2
1月1日	2,688	2,677	0.4
1月2日	2,618	2,650	△ 1.2
1月3日	3,011	2,927	2.9
合計	10,144	10,024	1.2

▲ 関西私鉄5社 12/31～1/3日間の利用状況



▲ てんしばエリアのマップ



▲ 両沿線の球団のマスコットも参加した締結式



▲ ザ・サウザンド キョウト 外観イメージ



▲ ザ・サウザンド キョウトはJR京都駅から徒歩

1月中旬

1月下旬